

令和 7 年度
事業報告及びその附属明細書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人ペガサス財団

令和7年度 事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 概 況

当財団は、名古屋競馬株式会社によって平成26年4月1日に一般財団法人として設立されて以来、真に豊かさを実感できる地域社会の実現と福祉の増進に寄与するという目的に沿って、NPO法人等の非営利団体が福祉、教育及び地域環境の保全を推進するために行う事業に対して助成金を交付するなど、公益的な事業を実施してまいりました。

令和6年度には、助成対象団体として新たに地方公共団体等を加えるとともに、助成対象事業として新たに「馬と共に人と社会をゆたかにする事業」を加えるなど、助成対象の幅を広げたほか、助成金予算を増額して1件当たりの助成金額の上限を50万円から100万円に増額するなど、助成金交付事業の充実を図ってきたところであります。

また、法人としての管理運営面では、令和6年度から評議員の構成を見直すとともに、新たに外部理事及び外部監事を選任して、ガバナンスの充実を図ってまいりました。

そして、より社会的な信頼を得て社会貢献活動に取り組めるように、令和6年8月9日に所管行政庁である愛知県に公益認定申請を行った結果、助成金交付事業が公益目的事業として認められ、同年10月1日には認定書を受領して公益財団法人に移行したものであります。

令和7年度は、こうした流れを受けて、公益財団法人として通年度で活動した最初の事業年度となりましたが、公益目的事業として引き続き助成金交付事業を実施するとともに、公益財団法人としての管理運営面では、令和7年4月に施行された公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律(以下「改正公益認定法」)に基づく新たな公益法人制度に適宜適切に対応して、引き続きガバナンスの充実に努めたところであります。

以下に令和7年度の当財団の活動実績の詳細について報告いたします。

2 事業活動

1. 助成金交付事業（公益目的事業）の実施状況 ～公 1(地域貢献支援事業)～

令和 7 年度に実施した本事業の概要は以下のとおり

(1) 目的

非営利団体が、愛知県内において実施する地域の社会福祉、子どもと若者の教育等の向上並びに地域の社会生活環境の整備等の事業に対して助成支援を行うことにより、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした。

(2) 事業内容・実績

非営利団体が愛知県内で行う事業を助成金の交付により支援した。

【助成対象団体及び助成対象経費】

助成対象団体は非営利団体（地方公共団体・法人格を有しない団体を含む）とし、当該団体が愛知県内で行う事業の実施経費や当該事業に必要な備品購入経費等を対象経費として助成した。

【助成対象事業】

助成対象事業は、非営利団体が愛知県内で行う次に掲げる業で、営利を目的としないものとした。

① 社会福祉の推進に関する事業

社会的に支援を要する者の自立と社会参加を促す機会の提供に資すること。

② 子どもと若者の健全な育成と教育の推進に関する事業

これから社会に参加していく子どもと若者が、健やかで豊かに育つため、一人ひとりの個性と発達段階に応じた、社会的自立や活躍を促す機会の提供及び教育の推進に資すること。

③ 地域環境保全の振興と地域緑化の推進に関する事業

地域の環境や生態系を守る取り組みと、良好な都市環境の形成に必要な緑化の推進に資すること。

④ 馬と共に人と社会をゆたかにする事業

引退競走馬のセカンドキャリア促進もしくは、さらにその後の養老・余生等の諸活動の支援に資すること。

【助成金額】

1 申請あたりの上限額は 100 万円とし、年度内の申請回数は 1 団体につき 1 回限りとした。

なお、次に掲げるものは助成対象金額から除くものとした。

- ① 助成対象事業が、国・地方公共団体又は他の民間の助成団体からの助成を受けているものであるときは、その助成金額
- ② 団体自体の運営に充てられる費用
- ③ 団体役員及び職員に係る費用

【応募資格】

次に掲げる要件を満たす団体とした。

- ① 団体の活動拠点が愛知県内にあり、その活動が愛知県内で行われていること。
- ② 非営利団体であること。
- ③ 反社会的勢力と一切の関係を有しないこと。
- ④ 団体の活動が、政治活動又は宗教活動を目的とせず、特定の団体又は個人の利益を守り、若しくは攻撃するものではないこと。

【募集方法・応募方法】

本助成金の詳細を記述した応募要項を当財団ホームページ等に掲載して募集した。申請団体は当財団が交付する所定の申請書に必要事項を記入し、当財団が指定する下記の添付書類を添えて書面により応募した。

〈添付書類〉＊地方公共団体については、④～⑪は不要

- ① 申請事業に関する事業計画書（当財団指定様式）
- ② 申請事業収支予算書（当財団指定様式）
- ③ 助成金対象経費内訳書（当財団指定様式）
- ④ 団体に関する調書（当財団指定様式）
- ⑤ 団体の役員名簿（当財団指定様式）
- ⑥ 誓約書（当財団指定様式）
- ⑦ 履歴事項全部証明書（原本）※ 法人格を有しない団体は不要
- ⑧ 団体の定款、会則、規約等
- ⑨ 団体の当該年度の事業計画書
- ⑩ 団体の当該年度の収支予算書
- ⑪ 団体の前年度の収支決算書 ※ 法人格を有しない団体は過去３年分の収支決算書
- ⑫ その他財団が必要と認める書類 ※ 法人格を有しない団体は、過去３年間を継続して活動していることを明示する書類等

【申請受付、審査・決定等の状況】

- ① Ｉ期（４/２～４/１８ 受付、５/２５ 審査会答申、５/３１ 理事会で申請 ７ 件全て交付決定）
- ② ＩＩ期（６/４～６/２０ 受付、７/２０ 審査会答申、７/２６ 理事会で申請 ２ 件全て交付決定）
- ③ ＩＩＩ期（８/１～８/２２ 受付、９/２０ 審査会答申、９/２７ 理事会で申請 ４ 件全て交付決定）
- ④ 追加募集（１０ 月受付：１０/１～１０/２４、１１ 月受付：１１/６～１１/２８、１２ 月受付：１２/３～１２/２４、結果 １１ 月申請が １ 件あり、１２/１７ 審査会答申、１２/２５ 理事会で交付決定）

当初の計画では上記の①～③のみの予定であったが、Ⅲ期まで交付決定したところで予算に余裕があったことから、令和7年9月26日に開催した第7回理事会にて追加募集を決定し、実施した。申請は、先着順で受け付けた。

【審査方法・決定】

申請についての審査は、助成金交付審査会規程に基づき、審査委員として理事会で選出された外部有識者3名で構成する助成金交付審査会にて行った。

同審査会では、助成金交付規程に基づき、申請団体が助成金の交付を受けることができる団体であることを確認するとともに、申請事業の内容について審査基準により総合的に審査し、助成金交付の適否や交付額、交付条件等について、理事会に答申を行った。

理事会では、その答申を受けて助成金交付の可否、交付額等を決定した。

なお、同審査会・理事会においては、審査・決定が公正に行われるよう、個別の助成案件に関して審査委員・理事が利害関係者に該当する場合には、その関与を排除した。

【助成事業の実績報告徴取、助成金の交付】

助成事業完了後、助成事業実施団体から、必要事項を記載した当財団所定の事業実績報告書を、下記の添付書類とともに、書面により徴取した。

財団では、徴取書類等により助成事業の実施状況を確認し、適正な事業実施の完了が確認できた場合に、助成金交付額を確定して助成金を交付した。

〈添付書類〉

- ① 助成事業成果報告書(当財団所定様式)
- ② 助成事業収支決算書(当財団所定様式)
- ③ 領収書等貼付用紙(当財団所定様式)
- ④ その他財団が必要と認める書類

【助成内容等の公表】

令和7年度の助成内容等(助成金全体の実績や個別の助成事業実施団体名・助成事業内容・助成金額等)については、当財団ホームページで公表する本事業報告に記載することにより公表することとした。(令和6年度の事業報告は当財団ホームページで公表済)

※ 事業報告は所管行政庁(愛知県)への定期提出書類となっており、内閣府が運営する公益法人等に関する情報のポータルサイト「公益法人 information (国・都道府県公式公益法人行政総合情報サイト)」においても公開される。

【助成件数及び助成金額】

助成件数 30 件程度、助成金予算額 1,400 万円の計画に対する実績としては、助成決定件数が 14 件で、助成金最終交付決定額の累計は 9,336,560 円となり、予算額に対する決定率は 66.7%であった。

また、14 件のうち 2 件分の 1,144,155 円については、助成事業が令和 7 年度末に完了するものであったことから、事業実績報告書の提出(受領)が令和 8 年 4 月となり、令和 8 年度予算での執行となった。

したがって、令和 7 年度の助成金予算の執行額としては 8,192,405 円となり、予算執行率は 58.5%となった。

なお、助成対象となった 14 団体の内訳は、NPO 法人 8、公益社団法人 1、社会福祉法人 1、学校法人 1、地方公共団体等 2、法人格を有しない団体 1 となった。

【財源】

助成金交付事業の財源については、寄付金によって賄った。

【個別の助成状況】

助成団体、助成事業の内容、助成金額等の個別の助成状況は以下のとおり。

※ 事業内容欄の番号は、次の助成対象事業としての区分による。

- ① 社会福祉の推進に関する事業
- ② 子どもと若者の健全な育成と教育の推進に関する事業
- ③ 地域環境保全の振興と地域緑化の推進に関する事業
- ④ 馬と共に人と社会をゆたかにする事業

ア 一般非営利団体（12 件）

団 体 名	特定非営利活動法人 りんりん
所 在 地	半田市
申請受付・審査会	I 期・令和 7 年 5 月 23 日
決 定 日	令和 7 年 5 月 30 日(第 4 回理事会)
事 業 名	りんごびあであそぼ(親子サロン)
事 業 内 容	出産後 2 か月から 1 歳頃までの乳幼児と父母を対象に、育児を楽しく乗り越えることを目的として、親子で楽しむベビーマッサージ等の講座を開催した。 ①
助 成 金 額	150,000 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	講師への謝金

団 体 名	特定非営利活動法人 日本乗馬普及協会
所 在 地	豊橋市
申請受付・審査会	I 期・令和 7 年 5 月 23 日
決 定 日	令和 7 年 5 月 30 日(第 4 回理事会)
事 業 名	愛知県内における引退競争馬セカンドキャリア普及促進事業
事 業 内 容	愛知県内における引退競走馬のセカンドキャリア普及促進を目的として、県内競馬場の調教師や職員、大学馬術部員、乗馬施設経営者への取材撮影によりドキュメンタリー映像「Life After Racing」を制作し、幅広く情報発信を行った。 ④
助 成 金 額	1,000,000 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	演出・撮影等業務委託費

団 体 名	社会福祉法人 恵の実
所 在 地	豊川市
申請受付・審査会	I 期・令和 7 年 5 月 23 日
決 定 日	令和 7 年 5 月 30 日(第 4 回理事会)
事 業 名	明和政子氏 講演会
事 業 内 容	子どもの発達を支援するために必要な視点を、科学的根拠に基づいて地域に広く普及することを目的として、地域の子どもの育ちにかかわる全ての人を対象に、AI 共生時代における子どものウェルビーイングの実現に向けて必要な視点について、科学的根拠に基づいた講演会を開催した。 ① ②
助 成 金 額	274,869 円（当初交付決定額 303,723 円から実績報告に基づき減額）
助 成 金 使 途	講師への謝金・旅費交通費、チラシ印刷費ほか

団 体 名	公益社団法人 認知症の人と家族の会愛知県支部
所 在 地	東海市
申請受付・審査会	I 期・令和 7 年 5 月 23 日
決 定 日	令和 7 年 5 月 30 日(第 4 回理事会)
事 業 名	認知症の人と家族の会 45 周年記念講演会
事 業 内 容	法人の設立 45 周年記念事業として、地域の一般の方々や認知症の方のご家族などを対象に、認知症への偏見をなくし、理解を深めてもらうための講演会や分科会を開催した。 ①
助 成 金 額	1,000,000 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	講師への謝金・旅費交通費、会場機材・備品借料ほか

団 体 名	特定非営利活動法人 みち
所 在 地	豊田市
申請受付・審査会	I 期・令和 7 年 5 月 23 日
決 定 日	令和 7 年 5 月 30 日(第 4 回理事会)
事 業 名	より SOY プロジェクト
事 業 内 容	「病気や障がいについての啓発活動」、「耕作放棄地の活用」、「食育」を目的として、病気や障がいのある就労継続支援 B 型事業所よりみちの利用者と地元の小学生が、地域の方から借りた耕作放棄地で一緒に大豆作りに取り組み、収穫後には地域住民から味噌作りを学んだ。① ② ③
助 成 金 額	260,000 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	大豆・味噌作りの講師への謝金、土壌改良作業業務委託費ほか

団 体 名	特定非営利活動法人 知多から世界へ
所 在 地	常滑市
申請受付・審査会	I 期・令和 7 年 5 月 23 日
決 定 日	令和 7 年 5 月 30 日(第 4 回理事会)
事 業 名	英国研修事業等の情報発信を担う当 NPO の独自のホームページの作成・運用
事 業 内 容	知多地域の中学生を対象とした英国研修事業等の成果を幅広く情報発信するため、独自のホームページを新たに作成するとともに、同ホームページを適切に運用するための機器整備を行った。②
助 成 金 額	925,100 円 (当初交付決定額 931,100 円から実績報告に基づき減額)
助 成 金 使 途	ホームページ作成業務委託費、備品購入費 (パソコン) ほか

団 体 名	特定非営利活動法人 ゆずりは学園
所 在 地	田原市
申請受付・審査会	II 期・令和 7 年 7 月 19 日
決 定 日	令和 7 年 7 月 25 日(第 6 回理事会)
事 業 名	子ども達にホースセラピーと自然体験学習で寄り添う
事 業 内 容	不登校児が増えている中で、経済的な理由からフリースクールにも通えない子どもや、様々な体験ができていない子どもたちに学校以外での居場所を提供し、不登校からひきこもりへの負の連鎖を防ぐことを目的に、講演会の開催や、不登校児を対象としたホースセラピー体験、自然体験などを行った。② ④
助 成 金 額	752,750 円 (当初交付決定額 785,520 円から実績報告に基づき減額)
助 成 金 使 途	ホースセラピー体験業務委託費、自然体験ボランティア経費ほか

団 体 名	学校法人 東邦学園
所 在 地	名古屋市名東区
申請受付・審査会	Ⅱ期・令和 7 年 7 月 19 日
決 定 日	令和 7 年 7 月 25 日(第 6 回理事会)
事 業 名	名東区スポーツ・健康×まちづくりにおける「自然に体が動き出すモーショントレーニング機器」整備事業
事 業 内 容	コロナ禍を経て、地域でのスポーツの機会が減少している現状を踏まえ、年齢や障がいの有無を問わず、誰もが楽しく参加できるスポーツの機会を地域に創出するために必要なトレーニング機器を整備し、地域の協議会と連携しながら、地域のコミュニティセンターなどで活用できるようにした。 ① ②
助 成 金 額	999,900 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	備品購入費（モーショントレーニング機器）

団 体 名	特定非営利活動法人 デジタルライフサポーターズネット
所 在 地	瀬戸市
申請受付・審査会	Ⅲ期・令和 7 年 9 月 19 日
決 定 日	令和 7 年 9 月 26 日(第 7 回理事会)
事 業 名	こども未来緑創造事業
事 業 内 容	小学校 4 年生から 6 年生の児童を対象に、自然への共感と、デジタル社会で必要な表現力・創造力の育成を目的として、自然観察と生成 AI 活用を組み合わせた 1 日体験型の学習プログラムを実施した。 ② ③
助 成 金 額	145,984 円（当初交付決定額 156,840 円から実績報告に基づき減額）
助 成 金 使 途	自然観察・火起こし体験業務委託費、施設利用料ほか

団 体 名	特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク
所 在 地	名古屋市中村区
申請受付・審査会	Ⅲ期・令和 7 年 9 月 19 日
決 定 日	令和 7 年 9 月 26 日(第 7 回理事会)
事 業 名	「アレルギーっ子のフェア」の開催
事 業 内 容	小・中・高生を始めとした若者たちを対象に、アレルギー専門の医師や看護師などの協力を得て、最新の治療法や生活の質を向上させるための学習会や相談会を開催するとともに、同じ経験を持つ同世代の仲間と出会える交流会を実施した。 ① ②
助 成 金 額	998,171 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	医師・看護師等への謝金、チラシ作成・郵送費ほか

団 体 名	特定非営利活動法人 響愛学園
所 在 地	一宮市
申請受付・審査会	Ⅲ期・令和 7 年 9 月 19 日
決 定 日	令和 7 年 9 月 26 日(第 7 回理事会)
事 業 名	特定非営利活動法人 響愛学園 15 周年記念コンサート
事 業 内 容	地域社会においては、障がい者に対する理解や支援が十分ではなく、住民との交流機会も限られていることから、障がいのある方や地域住民の誰もが安心して参加できる音楽やアートを通じた交流の場として、記念コンサートを開催し、互いの理解を深めるための機会を創出した。 ① ②
助 成 金 額	596,786 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	オーケストラ指揮者等への謝金、会場使用料ほか

団 体 名	(法人格を有しない団体) 子どもの居場所応援団「あいあい」
所 在 地	春日井市
申請受付・審査会	追加募集(11 月受付)・令和 7 年 12 月 17 日
決 定 日	令和 7 年 12 月 25 日(第 10 回理事会)
事 業 名	インクルーシブな子ども食堂の運営拡充
事 業 内 容	子ども食堂の利用者の急増に対し、事業の拡充を図るためには、調理家電や調理器具等の備品・物品の整備が必要不可欠であることから、これらを購入して、子ども食堂事業の拡充を図った。 ① ②
助 成 金 額	430,000 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	物品・備品購入費 (オーブンレンジ、ホットプレート、ミキサーほか)

イ 地方公共団体等 (2 件)

団 体 名	尾三消防組合
申請受付・審査会	I 期・令和 7 年 5 月 23 日
決 定 日	令和 7 年 5 月 30 日(第 4 回理事会)
事 業 名	バッテリーカー整備事業
事 業 内 容	幼年期の子どもに効果的に防火思想を芽生えさせるとともに、火災予防の動機付けにつなげていくために、尾三消防本部豊明消防署内、また、管内において行われる消防フェスタや各種イベントにおいて使用する子ども向けのミニ消防車バッテリーカーを整備した。 ②
助 成 金 額	803,000 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	備品購入費 (バッテリーカー)

団 体 名	豊明市
申請受付・審査会	Ⅲ期・令和 7 年 9 月 19 日
決 定 日	令和 7 年 9 月 26 日(第 7 回理事会)
事 業 名	児童館の魅力向上事業
事 業 内 容	子どもたちの居場所として、また、遊びを通じた子どもたちの健全な育成の場として設置された児童館の利用者が、少子化等の影響により減少傾向にあることから、児童館の魅力を高め、利用者数の回復及び増加を図るために、設備を改修するとともに、新たな遊びを提供するための物品や備品の整備を行った。 ① ②
助 成 金 額	1,000,000 円(当初交付決定額から変更なし)
助 成 金 使 途	物品・備品購入費 (3D プリンター、タブレット、VR ゴーグル、ノートパソコンほか)

(3) 助成金交付事業(公益目的事業)における質を改善するための取組並びに成果

質を改善するための取組としては、助成金交付事業の詳細な運用を定める助成金応募要項について、単年度の要項として、申請希望者にとって、より分かりやすく、使いやすいものとなるよう、毎年度見直しを図ることとしており、令和 7 年度の応募要項についても一部運用上の改善を図った。

また、成果については、令和 7 年度においては、社会福祉の推進に関する事業、子どもと若者の健全な育成と教育の推進に関する事業、馬と共に人と社会をゆたかにする事業など、非営利団体が取り組んだ 14 件の事業に対する助成を行ったことで、地域社会の健全な発展の一助になったものとする。

3 法 人 管 理

(1) 理事会・評議員会

ア 理事会

日付	内容等
5 月 30 日 (金)	<u>第 4 回理事会</u> 於：名古屋競馬株式会社 2 階小会議室 1 決議事項 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及びその附属明細書の承認の件 第 2 号議案 令和 6 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の承認の件 第 3 号議案 規程の一部改正の承認の件 * 情報公開規程 第 4 号議案 令和 7 年度助成金交付事業 第 I 期受付分の決定の件 第 5 号議案 第 1 回定時評議員会の件

(続き)	2 報告事項 (1) 名古屋競馬株式会社からの寄付金受入れ並びに同社との契約締結について (2) 第 5 回理事会について
6 月 24 日 (火) * 決議・報告があったものとみなされた日	<u>第 5 回理事会</u> (決議・報告の省略による方法) 1 提案事項 第 1 号議案 専務理事選定の件 第 2 号議案 事務局長就任の件 2 報告事項 第 6 回理事会の開催について
7 月 25 日 (金)	<u>第 6 回理事会</u> 於：名古屋競馬株式会社 2 階小会議室 1 決議事項 第 1 号議案 令和 7 年度助成金交付事業 第 II 期受付分の決定の件 2 報告事項 第 7 回理事会について (令和 7 年 9 月)
9 月 26 日 (金)	<u>第 7 回理事会</u> 於：名古屋競馬株式会社 2 階小会議室 1 決議事項 第 1 号議案 規程の一部改正の承認の件 * 就業規則始め 2 規程 第 2 号議案 令和 7 年度助成金交付事業 第 III 期受付分の決定の件 第 3 号議案 令和 7 年度助成金応募要項の一部改正の承認の件 2 報告事項 第 8 回理事会について (令和 7 年 11 月)
11 月 7 日 (金)	<u>第 8 回理事会</u> 於：名古屋競馬株式会社 2 階小会議室 報告事項 (1) 理事長及び専務理事の職務執行状況報告について (2) 令和 7 年 9 月末時点の貸借対照表及び正味財産増減計算書について
11 月 28 日 (金) * 決議があったものとみなされた日	<u>第 9 回理事会</u> (決議の省略による方法) 提案事項 第 1 号議案 規程の一部改正の承認の件 * 給与規程
12 月 25 日 (木) * 決議があったものとみなされた日	<u>第 10 回理事会</u> (決議の省略による方法) 提案事項 第 1 号議案 令和 7 年度助成金交付事業 追加募集 (11 月受付分) の決定の件

3月19日 (木)	<u>第11回理事会</u> 於：名古屋競馬株式会社2階小会議室 1 決議事項 第1号議案 規程の一部改正の承認の件 *経理規程 第2号議案 令和8年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件 第3号議案 名古屋競馬株式会社からの寄付金受入れ並びに同社との契約締結の承認の件 第4号議案 令和8年度助成金応募要項の承認の件 第5号議案 助成金交付審査会審査委員の選出の件 第6号議案 役員等賠償責任保険契約締結の承認の件 第7号議案 臨時評議員会の招集の件 2 報告事項 (1) 理事長及び専務理事の職務執行状況報告について (2) 第12回理事会について
3月26日 (木) *決議があったものとみなされた日	<u>第12回理事会</u> (決議の省略による方法) 提案事項 第1号議案 臨時評議員会の招集に係る提案事項(議案)の承認の件

イ 評議員会

日付	内容等
4月1日 (火) *決議があったものとみなされた日	<u>臨時評議員会</u> (決議の省略による方法) 提案事項 第1号議案 評議員 武田 淳 選任の件 第2号議案 評議員 松井 直樹 選任の件
6月13日 (金) *決議・報告があったものとみなされた日	<u>第1回定時評議員会</u> (決議・報告の省略による方法) 1 提案事項 第1号議案 令和6年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)並びに財産目録の承認の件 第2号議案 理事 内藤 真 選任の件 2 報告事項 令和6年度事業報告について

(2) 主な契約等

ア 契約

財団の適正な運営のため、以下のとおり契約を締結。

契 約 先	名古屋競馬株式会社
件 名	事務所等賃貸借契約
契 約 期 間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

契 約 先	税理士法人アズール
件 名	公益財団運営支援業務契約
契 約 期 間	令和 7 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日

契 約 先	パーソルテンプスタッフ株式会社
件 名	労働者派遣契約（週 3 日・1 名）
契 約 期 間	令和 8 年 3 月 4 日～同年 6 月 30 日

イ 寄付

財団の活動及び運営資金として、以下のとおり寄付金の交付を受けた。

交 付 元	名古屋競馬株式会社
交 付 日	令和 7 年 4 月 25 日
交 付 金 額	25,000,000 円

(3) 運営体制の充実を図るための取組

令和 6 年度から、評議員の構成を見直して、外部の公的団体職員 2 名を評議員として選任するとともに、新たに外部理事及び外部監事を選任して、ガバナンスの充実を図ってきており、引き続きその体制を維持した。

また、令和 7 年 4 月に施行された改正公益認定法に基づく新たな公益法人制度に対応するため、情報公開規程を一部改正したほか、育児・介護休業法の改正に伴う就業規則や育児・介護休業等に関する規程の一部改正など、各種法令の改正等に適宜対応して規程や内規の見直しを図り、適切に運用することで、運営体制の充実に努めた。

令和 7 年度 事業報告 附属明細書

令和 7 年度事業報告に関して、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。